



The 12th Cloud Computing Day Tokyo 2025 (Speakers & Topics)

2025.10.03



台灣雲端物聯網產業協會
Cloud Computing & IoT Association in Taiwan



Speakers & Topics – NTT Inc.

Topic & Abstract	Speaker
IOWN Photonic Disaggregated Computing Abstract: AI推論時代において、コンピューティングリソースの需要は継続的に増加しており、よりユビキタス化が求められています。この要件を満たすため、私たちは光接続を用いて複数のコンピューティングリソースを複数の拠点に分散配置するIOWNフォトリック・ディスアグリゲータッド・コンピューティングを開発しています。本プレゼンテーションでは、世界中のパートナーと連携したこの取り組みについてご紹介します。	荒金陽助 NTT IOWN推進室 室長 Dr. Yosuke Aragane / NTT Inc. Vice President, Head of IOWN Development Office / R&D Planning Department



Speakers & Topics – IP Infusion

Topic & Abstract	Speaker
IOWN Network Solution : Deployment Momentum in the Market Abstract: IOWNネットワークソリューションの提供開始から1年が経ちました。高速・広帯域の光ネットワークアップグレードへの高い需要を受け、ブラウンフィールドネットワークへの導入を進めています。本プレゼンテーションでは、IOWNネットワークソリューションの推進力と、ビジネスにおける成功要因についてご紹介します。	植松理昌 IP Infusion Chief Technologist Michimasa Uematsu / IP Infusion Chief Technologist



Speakers & Topics – HAZAMA ANDO

Topic & Abstract	Speaker
Innovation in Remote Management in Tunnel Construction with IOWN Technology Abstract: 弊社はIOWN技術を活用したトンネル建設現場の遠隔・自動化管理を推進する取り組みを開始しました。このプロジェクトは、建設現場とオフィス、データセンターを繋ぐことで、トンネル建設・運用時の安全性と生産性を向上させるとともに、次世代ICTインフラの構築を目指します。 最大1,000km離れた場所から安全かつ効率的な管理を可能にする4つのユースケースを定義しました。 •継続的な監視とデータ収集（リモートモニタリング） •イベントドリブン型監視とデータ分析（リモート分析） •モバイル検査（リモート検査） •組み込みインフラを活用したリモートメンテナンス	船津貴弘 安藤ハザマ 宇宙技術未来創造室 室長 Takahiro FUNATSU / HAZAMA ANDO CORPORATION Chief, Technical Research Institute



Speakers & Topics – CHT

Topic & Abstract	Speaker
Accelerating AI Workloads: hicloud GPUaaS and Remote Computing Power in Practice Abstract: hicloud GPUaaS (GPU as a Service) の特徴と、分散型AIデータセンター (DC) におけるその応用成果について考察します。GPUaaSは、高性能GPUリソースをオンデマンドで利用できるクラウドベースのサービスであり、計算効率と柔軟性を向上させます。このサービスは、企業のAIおよび機械学習モデルの学習および推論プロセスを加速させるのに役立ち、成功事例と実用的な適用シナリオを紹介します。さらに、複数のGPUリソースを統合することで高性能コンピューティングを実現するリモートGPUコンピューティングアーキテクチャを実演し、今後の開発動向について議論します。	Shih-Che Chien / CHT Director, Cloud Computing Department



Speakers & Topics – SYSCOM

Topic & Abstract	Speaker
1. SYSCOM : AI NEXT - Robots & Computer Agents 2. CIJ : CIJにおける生成AIの取組み Abstract: 【SYSCOM】 SYSCOMは、独自のNeuroChainを活用し、検索・生成技術を統合したRAGエンジンを開発しました。このエンジンはGAI Intelligence Integration PlatformとSyscom Talkerに拡張されており、フロントエンドアプリケーションとの迅速な統合を可能にし、AIによる既存サービスの強化と効率化を実現します。AIを中核として、OMFLOWとNExpertを統合し、完全なインテリジェントAIエージェントソリューションを形成します。 【CIJ】 CIJでは、昨今の人手不足や少子高齢化社会などの問題に対して「人と社会にやさしい未来」の実現を目指し、SYSCOM社のロボット・AIソリューションなどの日本市場への展開、および先進技術の応用により社会に価値あるソリューションの創出に取り組んでいます。ロボットや生成AIなど、CIJにおける応用事例をご紹介します。	蕭炯森/ SYSCOM 専務執行役員 工藤 義彦/ 株式会社 CIJ グローバルビジネス・デジタルソリューションR&D推進本部 デジタルソリューションR&D部 部長



Speakers & Topics – MiTAC

Topic & Abstract	Speaker
Open, Smarter and Greener Data Centers: Integrated Rack Solution with Liquid cooling by MiTAC Computing Abstract: MiTAC Computingからの主な成果は次のとおりです。 - システムからラックソリューションまで、液冷システムとの統合。 - ファームウェア (FW) からソフトウェア (SW) 導入準備まで、OpenBMC、Open Platform FW (OpenBIOS)、インフラ管理を含むオープンソースソリューションの概要。 - 透明性とセキュリティの優位性、そして長期的な持続可能性のサポート。	Hancock Chang / MiTAC Computing Director, Solution Enabling Division



Speakers & Topics – Taiwan AI Cloud

Topic & Abstract	Speaker
Sovereign AI Development in Taiwan: From Infrastructure to Co-Innovation Abstract: ソブリンAIは、各国がデジタル独立性と競争力を確保するための戦略的必須要件です。ASUSと台湾AIクラウドの知見に基づく台湾の経験は、先進インフラへの投資、地域人材の育成、AIエコシステムの強化、そして共創イノベーションの推進が、レジリエンスと国家の能力をどのように強化するかを示しています。本プレゼンテーションでは、持続可能な成長、安全保障、そして長期的なイノベーションリーダーシップへの道筋として、ソブリンAIに焦点を当てます。	Dr. Peter Wu / ASUS Cloud and Taiwan AI Cloud CEO



Speakers & Topics – Delta

Topic & Abstract	Speaker
High-Performance Data Access Paths for Large Language Model Workloads Abstract: AIデータセンターの熱狂的な需要の高まりは、主に大規模言語モデル（LLM）の学習と推論から生じる飽くなきコンピューティング需要によって引き起こされています。最新のGPUアーキテクチャは高度な並列処理を可能にしますが、GPU内の豊富なハードウェア並列性を最大限に活用するには、GPUを常に稼働させるのに十分なデータを継続的に供給することが重要です。そのため、最新のAIシステムは、高帯域幅メモリ（HBM）とGPU間の直接接続に重点を置いています。本講演では、まずLLMワークロードに関連するデータアクセス要件について解説し、LLMに最適化されたAIシステムにおいて真の縁の下の力持ちである高性能データアクセスパスを支えるアーキテクチャメカニズムについて解説します。	Dr. Tzi-cker Chiueh / Delta Director General, Delta Research Center .